2026 年度第 2 回がん登録標準化専門委員会 議事要旨

日　時：2026 年 9 月 2 日（水）13：00～15：00
場　所：Web 会議（Teams）
委　員：伊藤秀美、梅沢淳、柴田亜希子、田中里奈、寺本典弘、藤阪保仁、中林愛恵、西田一典、堀芽久美、松田智大、宮代勲、山下夏美
国立成育医療研究センター：加藤美穂、松本公一
オブザーバー：伊藤桂、江森佳子、小野綾美、松山浩
欠　席：中田佳世　　（敬称略）

Ⅰ．挨拶・情報提供

がん登録センター長 松田より、開催の挨拶と情報提供があった。

Ⅱ．検討事項

1. R9～R11 導入検討事項

【協議事項】
・ 資料に示したスケジュール予定で進める。
【協議内容】
・ 特になし

2. 被保険者番号取得から ID5 一括付与の流れ

【協議事項】
・ 都道府県により被保険者番号に関するエラー対応にばらつきが生じるといけないので、国側でもエラー件数や処理状況を把握できる管理・抽出機能を整備する。
・ 被保険者番号が不明な届出をエラーで停止した場合、罹患数に影響する可能性があるため、「不明」を用いて届出可能とし、集計対象から漏れない仕組みを検討する。
・ 被保険者番号不明の届出と後日番号が判明した届出については、ID5 による照合だけでなく従来の 4 点照合も活用し、適切に名寄せできる仕組みを検討する。

3. ID5 を利用した照合の仕組みとスコアリング

【協議事項】
・ ID5 が不一致、ID5 がない、または ID5 は一致するが生年月日が不一致の場合は、従来の 4 点照合またはエラー表示へ回す。ID5 一致・生年月日不一致では、他人の被保険者番号の取り違えを想定してエラー表示し、目視確認を促す方向で検討。

4. Web 入力フォーム（HosCanRLite）における UICCTNM９th 及びトロント小児がん病期分類の入力と NCR での集約

【協議事項】

・ SEIC・STIC を非浸潤癌として扱えるよう集約ロジックで対応するよう、現状の臨床実態を反映した集約方法を検討する。
・ 進展度やステージが複数存在する場合は、観血的治療ありの届出を優先し、その中でより信頼性の高い医療機関の届出を優先する仕組みや、拠点病院区分による重み付けを考慮した採用ルールを検討する。
・ 従来どおり進行した進展度を優先する考え方や 8000 番台の TNM コードの採用順位についても、その妥当性を踏まえて整理・検討する。

5. 医療機関別全国がん登録情報の利用・提供について

【協議事項】

・ 現状について報告が行われた。

6. がん登録実務研修・認定制度の変更について

【協議事項】

・ 質問の受付や回答共有の仕組みを設け、学習支援を継続する方向で検討する。
・ 行政担当者向け研修は、職責等を勘案し、質の高いがん登録のための推奨とする方向で検討する。

7. トロント小児がん病期分類

【協議事項】

・ 対象部位や年齢条件はパイロットスタディの調査結果を踏まえて決定しつつ、同時並行でシステム開発を進め仕様を早期に確定する。
・ トロント分類と UICC TNM 分類を、年齢だけでなく「がん種×年齢」で適用ルールを設定し、必要な分類を自動表示・入力必須とするようシステムの仕様を検討する。
・ トロント分類についても独自の集約ロジックを検討する。

8. SEER2026 年版

【協議事項】

・ 多重がんの資料の確認を進め、2026 年秋を目途に公開できるよう進める。

【協議内容】

・ 特になし

9. 標準登録様式と全国がん登録届出マニュアルの改訂について

【協議事項】

・ 様式の確認を進め、2027 年 1 月を目途に公開できるよう進める。

【協議内容】

・ 特になし

10. その他

【協議事項】

・ 子宮頸部の HSIL（CIN2 を含む）は性状コード 2 として登録対象に加えることについて、情報を収集し検討する。

以上、閉会